

事業番号	05 02 09	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	院内感染対策支援事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	医療推進課	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
		4 医療施策の充実			実施期間	H25 ～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	医療機関が院内感染対策について日常的に相談できる体制を整備するとともに、本県における院内感染対策のためのネットワークを構築する。						
現状（予算編成時）	・ 県内における医療機関の院内感染事例 年6～16件（保健所に報告がなされたもの） ・ 院内感染を原因とする死亡事例 年0～1件（保健所に報告がなされたもの） ・ 県内約50病院におけるMDRP（多剤耐性緑膿菌）検出数 2（H20）、1（H21）、5（H22）、8（H23）、7（H24）、0（H25）、1（H26）（長野県感染対策研究会調べ）						
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）		【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施：実施は困難		「医療機関等における院内感染対策について」（H26年12月19日付け厚生労働省医政局指導課長通知）において、地方自治体の役割として、「地域における院内感染対策のためのネットワークを整備し、積極的に支援する」旨の記載				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）						
	・ 院内感染を原因とする死亡事例 年0件 ・ 院内感染対策に関する講習会・研究会の参加者数 100名（44医療機関・・・県内の病院の3分の1）						
	② 事業内容（単位：千円）						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29
					（当初）	（決算）	（当初）
	①院内感染対策相談窓口の設置	委託	① 医療機関からの相談に対応するため、院内感染対策に関する相談窓口を設置		1,019	882	882
	②院内感染対策実地支援及び院内感染事例の収集・解析・評価の実施	委託	② 院内感染防止対策の取組に関する助言（又は院内感染事例の収集・解析・評価）を行うため、医療従事者からなる実地支援チームを編成して医療機関へ派遣				
	③院内感染対策講習会・研究会の実施	委託	③県内の医療機関に勤務する医療従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会・研究会を開催（1回）				
			合計		1,019	882	882

事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	1,016	1,019	882				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計（A）	1,016	1,019	882							
	Aの財源	一般財源	508	510	441	年間院内感染による死亡事例	1件	0件	100人（44医療機関）	153人（61医療機関）	達成	-
		県債	0									
		国庫支出金	508	509	441							
		その他	0	0	0							
	決算額（B）	882	882		院内感染対策講習会・研究会参加者数	131人（57医療機関）	117人（58医療機関）					
概算職員数（人）	0.10	0.10	0.10									
概算人件費（C）	828	791	791									
概算事業費（B（A）+C）	1,710	1,673	1,673									

目標に対する成果の状況	○平成28年度において把握された院内感染による死亡事例はなく、成果目標を達成した。 ○院内感染対策講習会・研究会は感染対策として関心の高い内容により、参加者数が153名（61医療機関）と100名（44医療機関）を上回り目標を達成した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	○院内感染の相談事例の蓄積や講習会・研究会の開催により、二次医療圏において各医療機関が密接に連携し、相互支援する体制（ネットワーク）を構築する。